

令和6年度 第2回佐倉市廃棄物減量等推進審議会の意見について(回答)

(2)製品プラスチック拠点回収試行事業の本格実施について(報告)

番号	ご質問・ご意見	回答
1	高齢者にはPPまたはPEの選別及び持参が難しいのではないかな。 ⇒市民への回収ボックスの周知徹底にも限界があるのではないかな。続けることが本当に実用的なのかな。 ⇒横浜市では成功したとのことであったが、人口動態の異なる佐倉市にマッチするのかな。	PP、PEの選別の難しさについては、中間処理をすることにより対応しております。市民への回収ボックスの周知徹底については、同様の事業を実施している千葉県内の2市よりはるかに多い回収量を達成しており、成果が上がっているものと認識しております。佐倉市においても成功例として、既に東京都某区などが視察に来ております。
2	代替案:巡回引き取り シルバー人材活用による個別引き取りの方が分別回収の効率が上がるのではないかな。 ⇒社会貢献を目指す「プラスチック選別マイスター制度」(仮称)をつくり、マイスター専任による回収作業を具現化する。例えばシルバー人材を活用し、軽トラでこまめに地域ごとに周回しながら回収し、指導する。(PP・PE以外のプラスチックはその場で「回収不可」のシールを貼り、意識啓蒙する。)	回収実績が上がっていることから、試行から本格実施を目指すものです。いただいた意見は、今後の施策の参考にします。
3	市民の意識が高まり、(拠点回収事業が)周知され、本格実施で利用者が増えることを望みます。	より利用者が増えるよう、今後もHPやSNS、広報紙などを活用してまいります。
4	経済的利得は期待できないと思うが、資源の有効活用の観点から拠点回収実施に賛成します。高齢化に対応できるように、将来的には、集積所回収に広げて欲しい。	将来の集積所回収について、検討してまいります。
5	住民の意識付けが必要と思う。活動実績を定期的に公表していくのもよいと思う。	今後の啓発手法の参考にします。
6	拠点への持ち込みができる曜日は指定されているのか。指定されていないのであれば、週2日くらいに指定した方がよいのではないかな。(日曜、水曜など)	原則、土日を含め、8時30分から17時15分まで持ち込みが可能です。市民の利便性や良好な収集実績を鑑み、週2回とする予定はありません。
7	資料に令和6年4月から前度の問題点を解決させた上で再実施されたとありますが、どのような問題があったのかな。	当初の想定より持込量が多いことから、一部ボックスを当初より大きくしております。また、志津市民プラザを除く、6拠点について、各拠点の管理施設職員の協力により、仮置き場を設置しました。

	ご質問・ご意見	回答
8	廃棄物の再商品化や再資源化は、結果や成果も大事なことであるが、市民や事業者に啓発をし、促進、継続していくことが重要であると思う。	今後の事業の参考にしてまいります。
9	会議において、回収拠点は増やさないということであったが、回収効率を考えると、場所の選定が難しいということなのか。自治会の集積所の入口付近に設置することが出来れば高齢者でも運ぶことが可能である。申請した自治会に回収ボックスを設置することができたらよいのではないか。	現在、ボックスだけでは対応できず、各施設の裏側等に相当広い仮置き場を作ってもらい、職員が逐次そこへ移動させるという負担が生じております。そのような状況や回収の人的負担を考慮しながら、今後の事業の参考にしてまいります。
10	回収量を増やすために、広報誌やHPだけでなく、常に目につくような場所、市庁舎や出張所、JRや京成の駅構内、などにポスター貼る。また、町内会を通して、適度なアナウンスを行うとともに、集会所へのポスター掲示などもよいのではないか。	今後の啓発手法の参考にしてまいります。